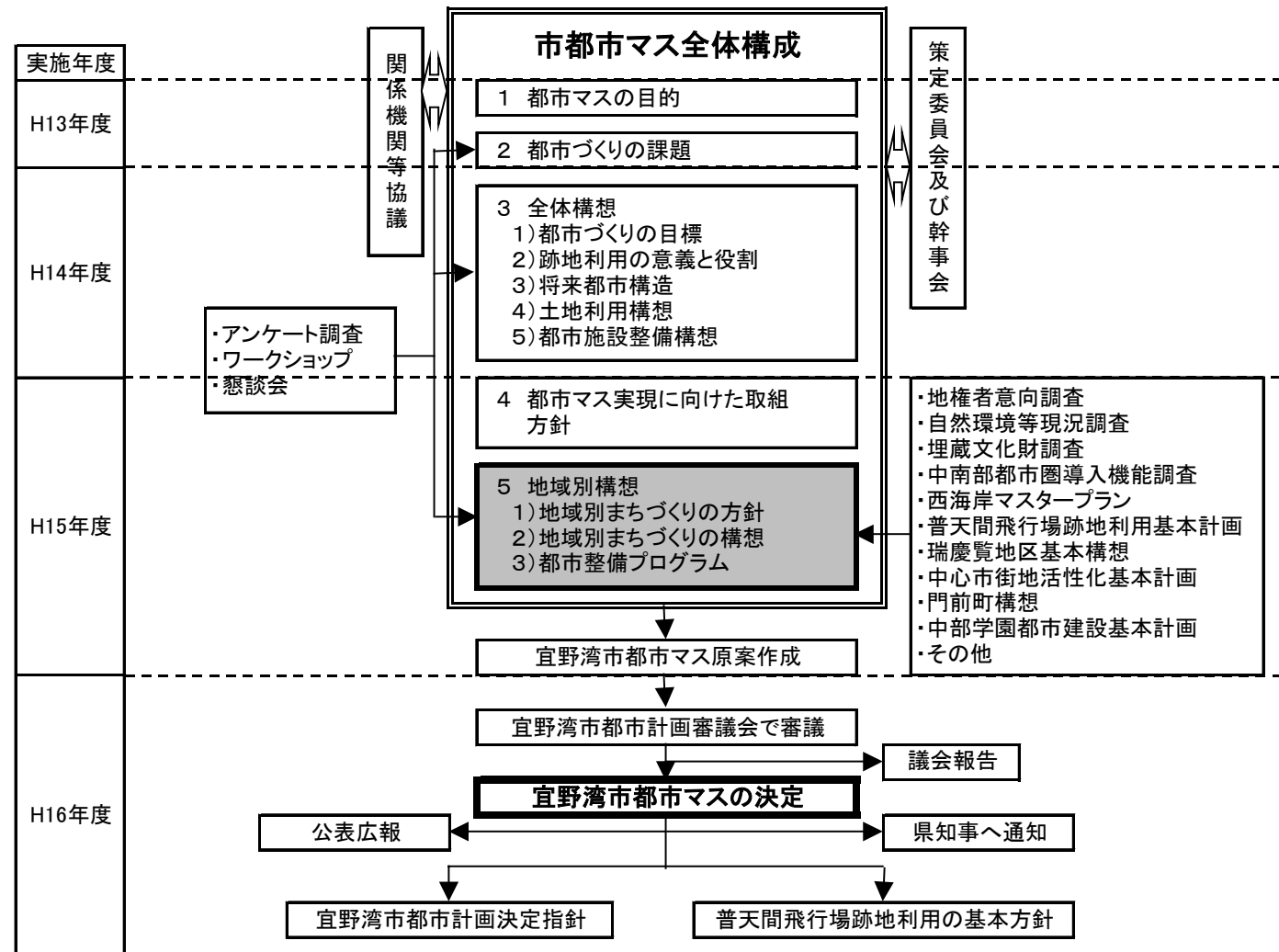


都市マスタープランでは、現在、「地域別構想」の検討を進めております。

宜野湾市都市マスタープランは、平成 13 年度から調査を始め、平成 15 年 9 月現在「地域別構想」を進めています。今後、平成 16 年 3 月に宜野湾市都市マスタープランの原案を作成する予定です。



自然環境調査は以下の内容について調査を進めております。

環境基盤調査

普天間飛行場を含む市域は石灰岩大地の地下に発達する地下水の涵養域（水田、畑地、林地、水域等、地下水を染み込ませ蓄えておける場所）に当たっており、土地利用によって大きな影響を受ける地域であることから、地質や涵養域の状況等の調査を行い、今後の土地利用策定時に活用することを目的とした調査です。

陸域生態系調査

普天間飛行場とキャンプ瑞慶覧のまとまった樹林地帯は、返還後の土地利用によっては大きな開発圧を受けることから、市域全体の陸域生態系調査を実施し、保全上重要な地域の確保を図るとともに、将来の都市整備を進めるにあたって活用することを目的とした調査です。

生活環境調査

今後の土地利用に反映できるよう、基地周辺における水質と土壌等の面から、地下水、湧水及び鍾乳洞水質や土壌の現状濃度等の水・土壌環境質の評価を行う調査です。



ふるさと

平成15年度第1回地権者懇談会を開催いたします。
皆様のご参加をお待ちしております。

【主な内容】

- ・地権者意向調査の結果報告
- ・その他、普天間飛行場に関する状況報告
- ・質疑応答、意見交換

市では、普天間飛行場返還後の跡地利用の円滑化に向けて、地権者の方々に対する情報提供や意向把握を今後も継続して行っていきたいと考えています。

つきましては、下記日程で平成 1 5 年度第 1 回地権者懇談会を開催しますので、ご家族や普天間飛行場のまちづくりに関心のある方々をお誘いの上、是非ご参加下さいませようご案内申し上げます。

月 日	時 間	会 場	対 象 字
10 月 15 日（水）	19:00～21:00	宜野湾公民館	宜野湾、佐真下
10 月 16 日（木）	19:00～21:00	喜友名公民館	喜友名、伊佐
10 月 17 日（金）	19:00～21:00	（旧）大山公民館	大山、真志喜、大謝名
10 月 18 日（土）	19:00～21:00	中原公民館	中原、赤道、上原
10 月 19 日（日）	19:00～21:00	農協会館 2F	神山、野嵩、新城

どちらの会場にお越しいただいてもかまいません。ご都合の良い日にぜひご参加下さい。

発行 / 宜野湾市役所 基地政策部 基地渉外課

〒901-2710

沖縄県宜野湾市野嵩 1 - 1 - 1

Tel. 098-893-4411（内線 310）

ホームページアドレス <http://www.city.ginowan.okinawa.jp>

地権者意向調査の結果概要報告

跡地利用基本方針や宜野湾市都市マスタープランへの地権者意向の反映、地権者等の合意形成活動の円滑化に向けた基礎資料とすることを目的として、6月～8月にかけて実施した「地権者意向調査」の主な結果概要は以下の通りです。

なお、今回の調査では2,470名の地権者（住所、氏名等が確認できる全地権者）に調査票を配布し、約7割の方から回答を得ました。

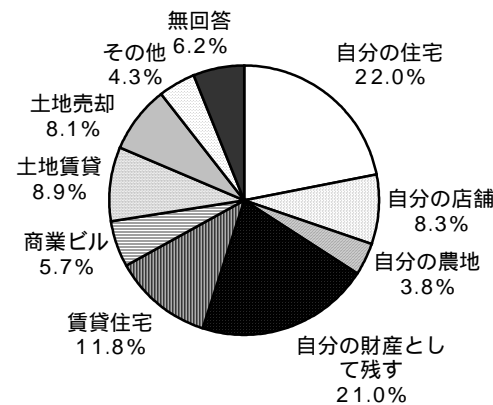
皆様のご意見、ご意向は今後の計画づくりの参考にさせていただきます。
ご協力ありがとうございました。



あなたは、普天間飛行場が返還されたらどのように土地を活用したいと思いますか？

『自分の住宅として』（22.0%）と『自分の財産として残す』（21.0%）の回答が、ほぼ同数で多くなっているが、他は回答が分散化している。

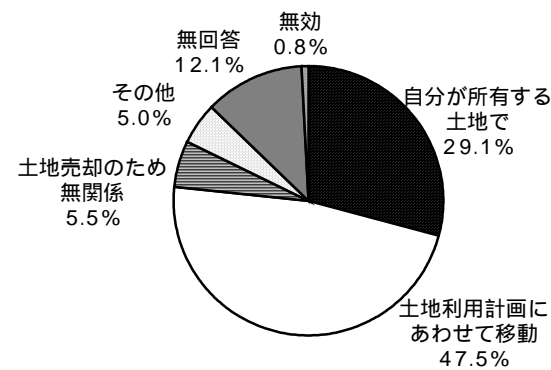
また、収入を得るための土地活用としては、『賃貸住宅』が11.8%で最も多く、近年手軽になっているアパート経営や駐車場経営に魅力を感じている人が多いと考えられる。



あなたは土地活用を行う場所としてどのような位置を望みますか？

『土地活用の目的を果たせるところが良い（土地利用計画に合わせて移動）』が47.5%を占め、次いで『自分が所有する土地からは動きたくない（今の位置で土地活用したい）』が29.1%となっている。

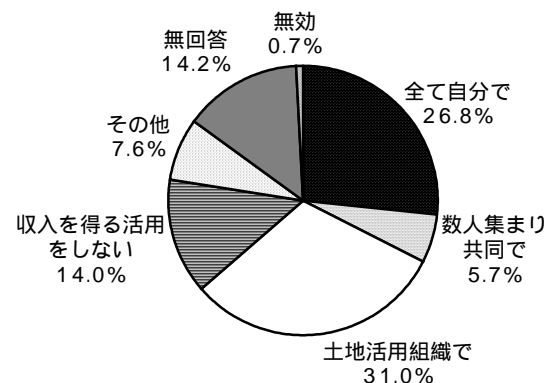
面積規模別の状況をみると、所有面積が大きいほど『土地活用の目的を果たせるところが良い』と回答する割合が高くなる傾向にある。



あなたは土地活用を行う方法としてどのように考えておりますか？

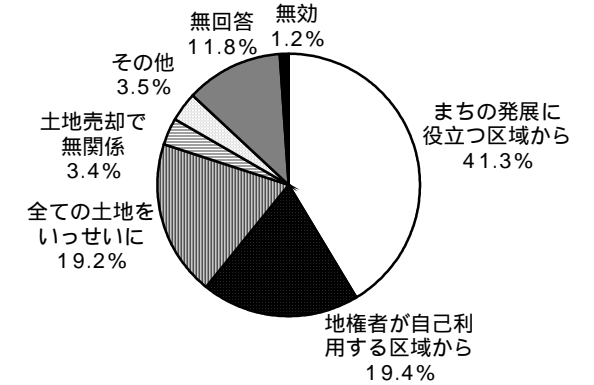
『共同の土地活用組織等に預けて、土地の管理・運営を代行してもらいたい』が最も多く31.0%となっている。これは、個人での土地活用に対する不安や安定した収入を望むものと考えられる。

また、『すべて自分で土地活用を行いたい』とする意向も26.8%と少なくない。



あなたは、普天間飛行場の跡地整備の進め方についてどう思われますか？

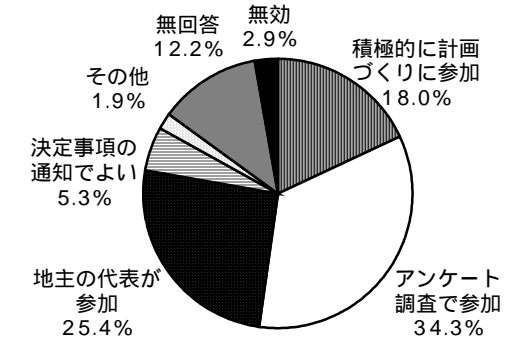
『まちの発展に役立つ区域から』との回答が最も多く41.3%を占め、『地権者が自己利用する区域から』の19.4%と『全ての土地をいっせいに使えるようにしたい』の19.2%がほぼ同数で続いている。



あなたは、普天間飛行場跡地利用の計画づくりにどう関わったら良いと思いますか？

『アンケート調査から地主の考えを取り入れてくれればよい』が最も多く34.3%を占めている。

『積極的に計画づくりに参加』と『アンケート調査』を合わせると52.3%となり、回答者の過半数が「何らかの形で地権者の意向を計画づくりに反映させたい」と考えているといえる。



意向調査の詳細は地権者懇談会等でお知らせします。

はごろも祭りで普天間飛行場に関わる取り組み等のPRを行いました

昨年に引き続き、宜野湾海浜公園多目的広場にて開催された「宜野湾はごろも祭り」（8月2日（土）・3日（日））にて普天間飛行場に関わる取り組み等のPRを行いました。

会場では、普天間飛行場の概要を盛り込んだ「うちわ」を2,000枚配布したほか、ビデオ上映、模型の展示等を行いました。



平成15年度第2回合意形成推進委員会を開催しました



去る9月17日、宜野湾市農協会館にて第2回合意形成推進委員会を開催しました。

今回は、地権者意向調査の結果概要について報告を行い、意向調査結果からみた今後の課題、計画の進め方等について議論しました。